

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年5月10日時点)

➤ **露軍が各正面で攻勢を強め、ウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続する一方、ウクライナ軍は火砲や砲弾、防空ミサイルなどの不足に直面する中で防御戦闘を継続**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT23年8月18日)

: 死者約18万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

: 死傷者46.5万人以上 (英国防省24年5月4日)

「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT23年8月18日)

: 死者3.1万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,500人以上 (UN23年12月4日)

- 「ウ」情報総局副局長は、英紙に対し、「ウ」には武器がなく、**チャシフ・ヤールの喪失は時間の問題**である、全ては「ウ」の貯蓄と調達に掛かっているとし、**米軍の支援が「ウ」陣地に届くまでには数週間かかる**と発言。また、露軍が現在、「ウ」侵攻に**51.4万人**の兵士を投入していると言及 (5月2日)
- 「ウ」の「ホルティツィヤ」編組部隊報道官は、この1週間、**チャシフ・ヤール市周辺の戦況は変化しておらず**、同市に敵部隊は存在しないと発表 (5月6日)
- 露国防省は、**ハルキウ州キスリウカ村、ドネツク州ノヴォカリノヴェ村を解放した**と発表 (5月8日)

- 「ウ」情報総局は、モスクワ市オスタフィエヴォ飛行場で、**多目的ヘリコプター「Ka-32」**(軍用である「Ka-27」の民間型)を破壊したと発表 (4月26日)
- 「ウ」情報総局は、同局の「グループ13」部隊が、**国産の無人水上艇「MAGURA V5」**により、**クリミアに所在していた露高速艇を撃破した**と発表 (5月6日)
- 「ウ」保安庁は、**ゼレンスキー大統領**や他の軍事・政治指導部高官の**排除を狙った露連邦保安庁(FSB)の計画を阻止した**と発表 (5月7日)
- 「ウ」空軍司令官は、**弾道ミサイル「キンジャル」×1、「イスカデルM」×2、巡航ミサイル「カリブル」×4、Kh-101/Kh-555×45、「イスカデルK」×1、Kh-59/Kh-69×2、Shahed-131/136×21**から成る露の複合攻撃を受けたと発表 (5月8日)
- 「ウ」エネルギー相は、**ポルタヴァ州、キロヴォフラツク州、ヴァインニツァ州、ザポリツィヤ州、リヴィウ州及びイワノ・フランキウスク州の発電・送電施設が露の攻撃を受けた**と発表。また、「ウ」電力大手DTEKは、露の砲撃により**3つの火力発電所が深刻な損害を受けた**と発表 (5月8日)

- サリバン米大統領補佐官は、米国の新たな軍事援助により、「ウ」は**2024年は前戦を維持し**、露の攻撃に耐えることができるとしたほか、**2025年に反転攻勢を企図**していると発言 (5月5日)
- 露国防省は、**ソ連崩壊以降初めて、非戦略核戦力の演習準備を開始**と発表。また9日、プーチン大統領は、同演習に**ベラルーシが参加予定**と発言 (5月6日、9日)
- 「ウ」検事総長は、23年12月末から2月末の間に「ウ」に飛来した**北朝鮮製ミサイル50発のうち、21発を調査したところ、同国製ミサイルの約半数が予定軌道を外れ、空中で爆発した**と発言。また、「ウ」でのKN-23の使用が最後に観測されたのは2月27日であると発言 (5月7日)
- オランダ国防相は、「ウ」に対し**今夏、最初にデンマークから、その後オランダからF-16を提供する準備ができている**と発言 (5月7日)
- 「ウ」空軍報道官は、「ウ」パイロットの一部は既に**F-16の訓練を完了**しており、既に「ウ」において任務を実施する準備ができていると発言 (5月9日)

